



半世期の時を超えて今もなお感性に語りかける  
味わい深い音、夢の結晶。

## Orville by Gibson Acoustic series J-200, J-45 & J-160E



豊感あるサウンドとレスポンスの良さをギブソンを継承する、キング・オブ・フラットトップ・ギター。  
Orville by Gibson  
**J-200**  
¥110,000  
●Top/Side/Back: スプルース/メイプル/メイプル  
●Neck: メイプル25 $\frac{1}{4}$ "スケール  
●Fingerboard: ローズウッド  
●Color: VS (ヴィンテージサンバースト)/AN (アンティークナチュラル)

独特のスロープ・ショルダーボディで存在を誇示する、J-45ウォームサウンドを踏襲した伝統機種。  
Orville by Gibson  
**J-45**  
¥80,000  
●Top/Side/Back: スプルース/マホガニー/マホガニー  
●Neck: マホガニー24 $\frac{3}{4}$ "スケール  
●Fingerboard: ローズウッド  
●Color: VS (ヴィンテージサンバースト)/AT (アンティークウォルナット)

誕生以来数々の名曲を創り続けてきた名器160Eをオリジナルピックアップにまで徹底してレプリカ。  
Orville by Gibson  
**J-160E**  
¥110,000  
●Top/Side/Back: スプルース/マホガニー/マホガニー  
●Neck: マホガニー24 $\frac{3}{4}$ "スケール  
●Fingerboard: ローズウッド  
●Pickups: Gibson カスタム P-90 (U.S.A)  
●Color: VS (ヴィンテージサンバースト)

ギブソンがそのラインの中にフラットトップ・ギターを加えたのは1926年。L-0とL-1をリリースしたのが成功の第一歩でした。そして翌々の1928年にはニック・ルーカスモデルを、さらに1932年にはL-00、1934年にアドヴァンスド・ジャンボと続き、1937年、当時のカントリ・ギタリストに応えたSJ-200の発表に至りました。SJ-200はその後J-200と改名され幾多のマイナーチェンジを経て今日、ギブソンアコースティックギターの最高峰と呼ぶに値する堂々とした風格を誇っています。オービルのJ-200は、スプルーストップ、メイプルサイド&バックからなる豊感のあるサウンドキャラクターや個性的なマスターシェイプブリッジ、花柄を彫刻したピックガード等を可能な限り横し、ギブソンの直系としての誇りをもった完成度でアコースティックシーンに際立った存在をアピールしています。

Orville  
by Gibson